

神崎市地域経済動向調査(9月号)

■全国の景況

◇月例経済報告(H29.8月号より)

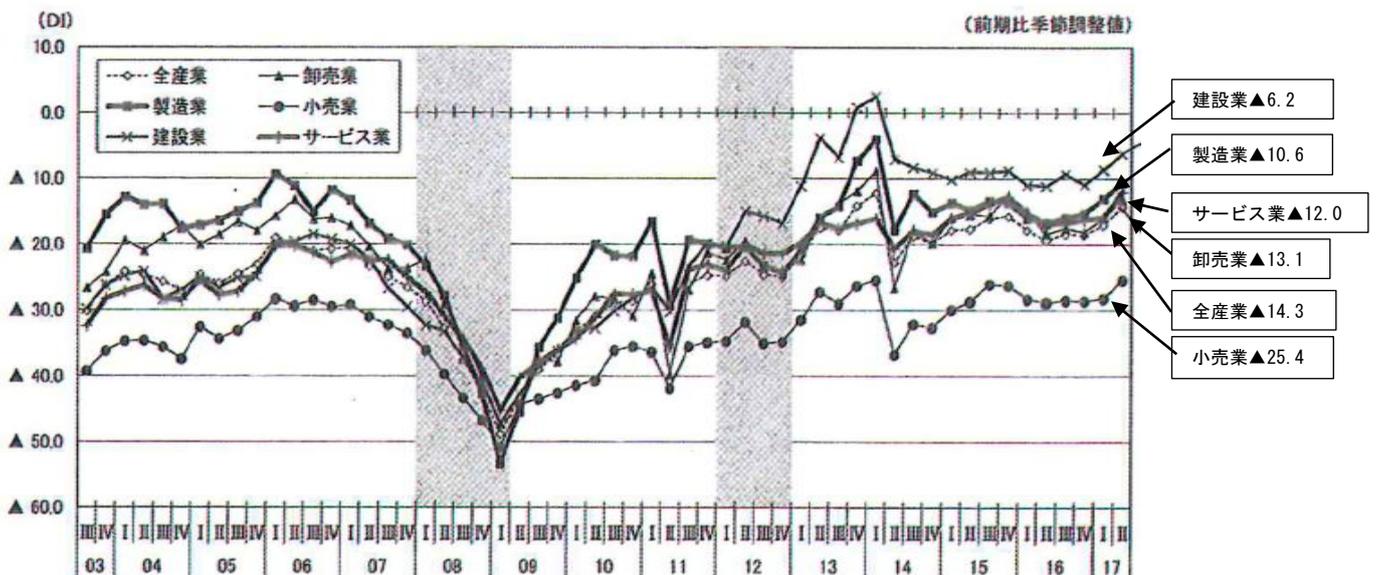
『景気は、緩やかな回復基調が続いている』

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

◇中小企業景況調査(2017年4~6月期より)

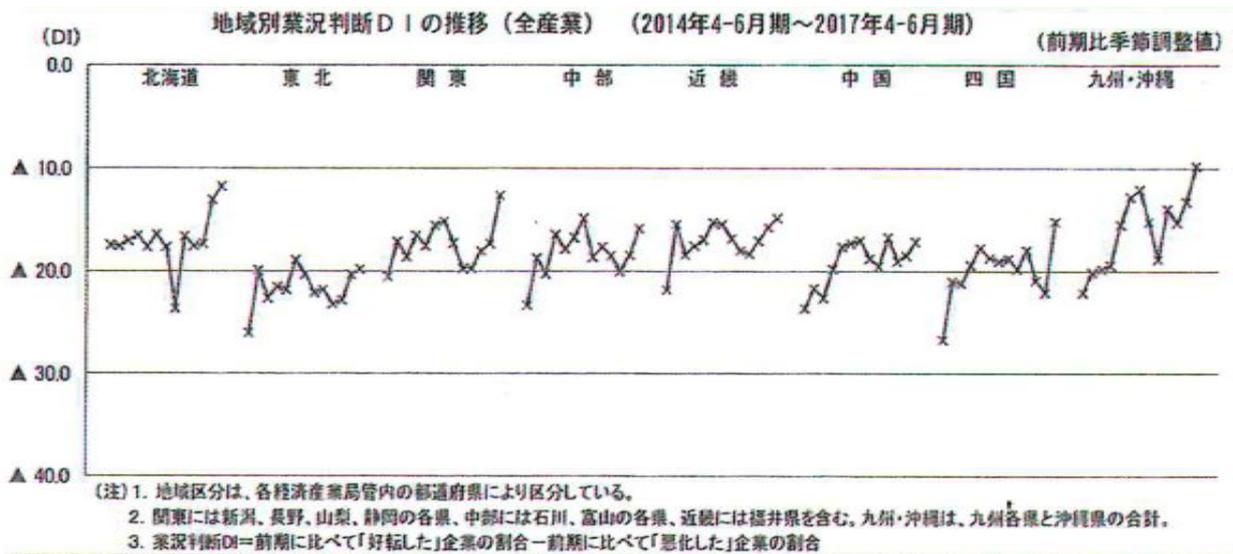
『中小企業の業況は、緩やかに改善している。』

<中小企業の業況判断(2017年4~6月期)>



- ・2017年4~6月期の全産業業況判断DI値は、▲14.3(前期より2.7ポイント増)で2期連続してマイナス幅が減少した。業種毎にみても、各業種で前期よりポイントは増加している。
- ・なお、業種別では、小売業が最も厳しい業況判断となっている。

<地域別業況判断(2017年4~6月期)>



- ・九州・沖縄をはじめ、すべての地域でマイナス幅が縮小している。

■佐賀県の景況

◇佐賀県内経済情勢報告 (H29.8)

『県内経済は緩やかに持ち直している』

- ・個人消費は、持ち直しつつある。
- ・生産活動は、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・設備投資は、29年度は前年度を上回る見通しとなっている。
- ・企業収益は、29年度は増益見通しとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。
- ・公共事業は、前年度を上回っている。

◇佐賀県主要経済統計速報 (H29.8 より)

佐賀県主要経済統計速報 8月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(6月)は、全店販売額が2ヵ月振りに上回った。
乗用車新規登録台数(7月)は、9ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(6月)は、2ヵ月振りに上回った。
公共工事前払保証請負金額(7月)は、2ヵ月振りに下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(6月)は、2ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(6月)は、23ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産(7月)の件数は3件減で、金額は5ヵ月振りに下回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(7月)は、59ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

項 目		対象月	数 値	単 位	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分	
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額 全店販売額 既存店販売額	6月	51億17百万	円	1.0%	△1.5%
				—	円	△0.8%	—
		乗用車新規登録台数	7月	2,474	台	8.1%	△6.2%
	住宅建設	新設住宅着工戸数	6月	521	戸	44.7%	17.3%
公共工事	公共工事前払保証請負金額	7月	80億56百万	円	△3.9%	△8.4%	
生産	鉱工業生産指数(季節調整済)	6月	97.5		△1.3%	7.6%	
雇用	雇用情勢：有効求人倍率・就業地別(〃)	6月	1.46	倍	0.16 ポイント	0.02 ポイント	
企業倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	7月	2	件	△3件	0件
		〃(累計)		14	件	△12件	—
		負債金額(当月)		1億20百万	円	△1億36百万	△34億10百万
		〃(累計)		51億57百万	円	18億23百万	—
物価	消費者物価指数(佐賀市)	6月	100.6		0.5%	△0.1%	
金融	金融機関(銀行)の貸出残高	7月	1兆3,097億	円	2.9%	0.6%	
景気動向指数	先行指数		75.0	%	—	—	
	一致指数	5月	85.7	%	—	—	
	遅行指数		50.0	%	—	—	

■神埼市の景況

『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

◇中小企業景況調査(2017年4～6月期より)

中小企業景況調査より、平成28年4～6月期から平成29年4～6月期の業況判断状況は以下のとおりである。

	H28.4～6月期	H28.7～9月期	H28.10～12月期	H29.1～3月期	H29.4～6月期
全国	▲19.5	▲18.2	▲18.7	▲17.0	▲14.3
佐賀県	▲20.1	▲15.9	▲15.5	▲15.4	▲15.5
神埼市	-	-	-	▲26.7	6.3

- ・2017年4～6月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲15.5(前期差0.1ポイント減)で、横ばい状況となっている。
- ・佐賀県は全国と比較して、1.3ポイント低くなっている。
- ・神埼市は、15社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DIは6.3で、全国、佐賀県値と比べ高い値となっている。

<経営上の課題>

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	官公需要の停滞	従業員の確保難	民間需要の停滞
	神埼市	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	材料価格の上昇
製造業	全国	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応	生産設備の不足・老朽化
	神埼市	需要の停滞	原材料価格の上昇	製品ニーズの変化への対応
小売業	全国	大・中型店の進出による競争の激化	需要の停滞	購買力の他地域への流出
	神埼市	従業員の確保難	店舗の狭隘・老朽化	仕入単価の上昇
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	神埼市	従業員の確保難	利用料金の低下・上昇難	材料等仕入単価の上昇

- ・中小企業景況調査で、全国で約8,000件、神埼市商工会では15件が対象となっている。神埼市においては、建設業、小売業、サービス業にて、従業員の確保難が最重要課題となっている。

◇保証月報(佐賀県信用保証協会より)

神埼市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	H28.7				H29.7			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神埼市	1	10,000	363	3,012,155	5	52,480	346	2,721,605
佐賀県	181	1,597,818	11,018	85,698,953	194	1,926,720	10,650	81,328,860

・平成 29 年 7 月の神埼市内中小企業の保証承諾件数は 5 件で、金額は 52,480 千円で、前年同月比では増加となっている。

・保証債務残高は、佐賀県全体、神埼市とも、減少となっている。